

もっと知りたい！現在・未来の暮らしと生活の情報誌

総務省



2025 年 3 月号

Vol.291

C O N T E N T S

P.2 特集 2月1日(土)から3月18日(火)は サイバーセキュリティ月間です

地方のかがやき

P.6 岡山県 倉敷市

P.10 つくろう！守ろう！安心できる情報社会 DIGITAL POSITIVE ACTION

P.12 公害苦情の受付件数は3年連続で減少 ～令和5年度公害苦情調査結果概要～

P.14 3月1日(土)から3月7日(金)まで 春季全国火災予防運動を実施します！ この機会に防火への意識を高めましょう

地域 DX のヒント

P.15 静岡県裾野市 日本一市民目線の“頼りになる窓口”づくり

特集

2月1日(土)から3月18日(火)はサイバーセキュリティ月間です

あらゆる世代がスマートフォン等を通じ、インターネット空間で様々な活動を行えるようになっていますが、フィッシング、サポート詐欺、不正ログインやランサムウェアなど、皆さんの生活をおびやかす犯罪も身近となり、年々増加をしています。これに備えるためには、まず家庭や職場でセキュリティについて話し合い、一人一人が日頃から対策することが何よりも重要です。

このため、政府は、毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」と定め、内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）を中心に、サイバーセキュリティに関する取組を集中的に行っています。

期間中は、政府機関をはじめ地方公共団体・都道

府県警察・NPO・民間企業など、様々な団体によって、サイバーセキュリティに関連する行事が開催されます。

「サイバーセキュリティ月間」特設サイトでは、これら関連行事の情報を掲載するほか、セキュリティの普及啓発に役立つツールや教材、Webサイト等も紹介しています。

ぜひ「サイバーセキュリティ月間」特設サイトをチェックしてください。

2025 年「サイバーセキュリティ月間」特設サイト

<https://security-portal.nisc.go.jp/cybersecuritymonth/2025/>



「サイバーセキュリティ月間」なぜ2月1日～3月18日？

情報セキュリティに関する政府戦略である「第1次情報セキュリティ基本計画」が平成18年2月2日に策定されたことから、2月2日を「情報セキュリティの日」とし、平成22年からは2月を「情報セキュリティ月間」と定めました。その後、平成26年にサイバーセキュリティ基本法が成立したことを踏まえ、

平成27年から期間を3月18日（サ（3）イ（1）バ（8）ーの日）まで拡大した上で、名称も「サイバーセキュリティ月間」と改め、NISCを中心として、サイバーセキュリティの普及啓発を集中的に実施しています。

サイバーセキュリティ普及啓発パンフレット

NISCでは、2025年「サイバーセキュリティ月間」に合わせて、基本的な対策を学べるパンフレットを公開しました。

ファミリー向けと中小企業向けの2種類あり、ご自由にダウンロードし、印刷して配布することが可能です。



<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/pamphlet2025.html>



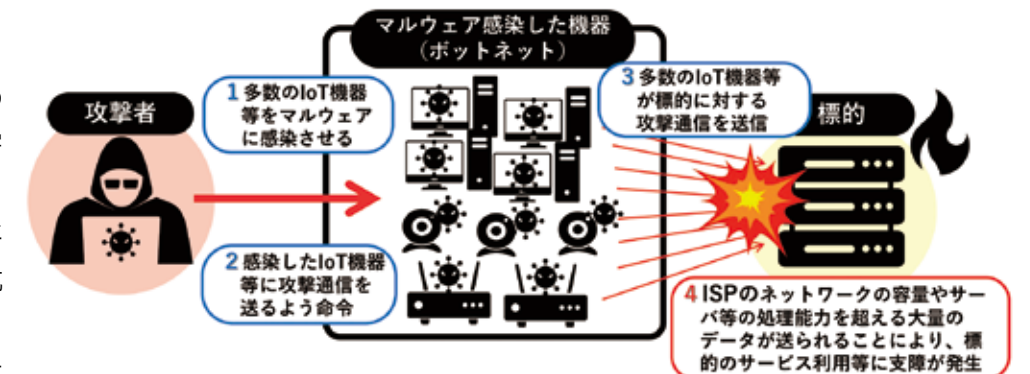
サイバー攻撃に悪用されうるIoT機器対策

IoT機器を狙ったサイバー攻撃の脅威

インターネット上のサイバー攻撃のうち、特にIoT機器を狙ったものの数が高止まりしています。セキュリティ対策に不備があるIoT機器は、マルウェア(ウイルス)に感染しサイバー攻撃に悪用され、自らが被害者になるだけではなく、他者への攻撃の踏み台となる加害者になるおそれがあります。国内においても、年末から年始にかけて、航空運送事業者・金融機関・通信事業者等に対してサ

イバー攻撃が行われ、一部のサービスの提供に支障が出るなどの影響が生じる事例が発生しております。

【図1】



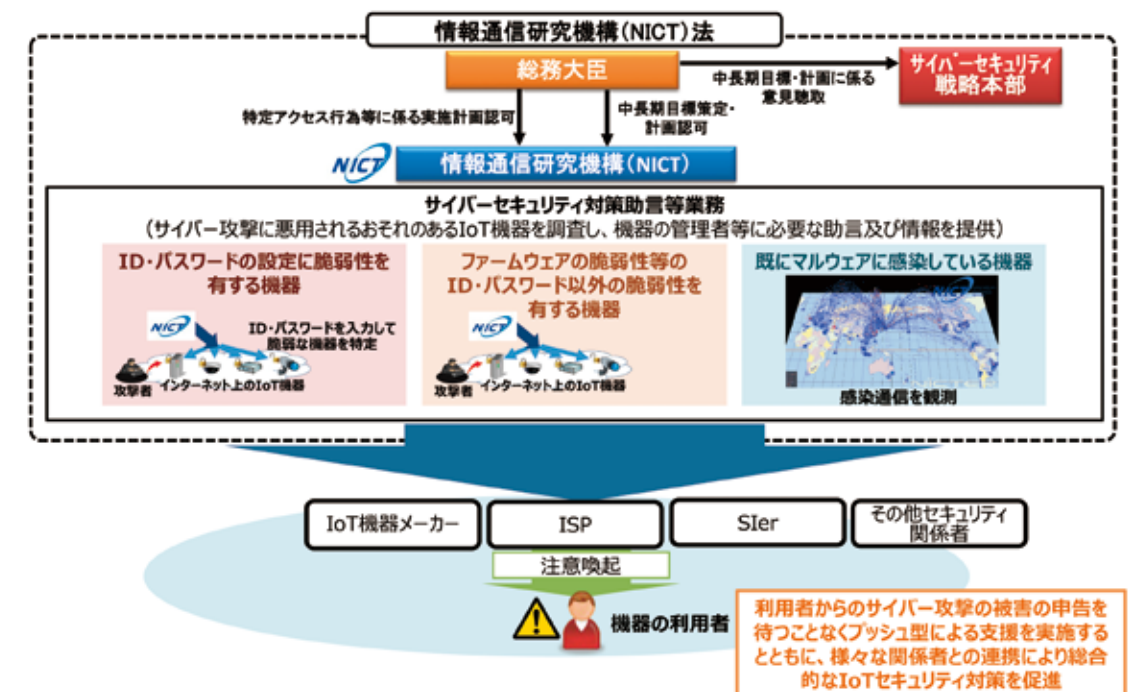
NOTICE の取組

総務省および国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は、国立研究開発法人情報通信研究機構法（NICT法）に基づき、ID・パスワードの設定に脆弱性のある機器、ファームウェアに脆弱性がある機器やすでにマルウェア(ウイルス)に感染している機器等の調査を行い、インターネットサービスプロバイダ（ISP）やIoT機器メーカー等とも連携を深めなが

ら、サイバーセキュリティ対策に係る助言や情報提供の強化を行っております。【図2】

これにより、NOTICE Webサイトや動画サイト、街中におけるポスター等の掲示等の関係組織と連携した広報活動に加え、ISPと連携した注意喚起等の幅広い対策の促進により、安全・安心なサイバー空間の確保に向けた総合的な取組を進めてまいります。

【図2】



お知らせが届いた場合は

NOTICEは脆弱なIoT機器を利用していると思われる利用者に対してお知らせを実施しております。お知らせが届いた場合は、NOTICE Webサイト

インターネット接続機器の設定をこの機に見直してみましょう

設定が十分でないと、不正アクセスを受けるおそれもあります。無線LANルーター等のインターネット接続機器について、次のポイントをチェックしましょう。

- ・機器設定用のパスワードは複雑なものにしましょう。
- ・機器のファームウェアを最新の状態にしましょう。
- ・使用していない機器はインターネットに接続しない(または電源を切る)ようにしましょう。

(<https://notice.go.jp>)をご確認いただき、適切なセキュリティ対策をとるようにしてください。

お問い合わせ先

NOTICE サポートセンター

TEL : 0120-769-318 (無料・固定電話のみ)

03-4346-3318 (有料)

受付時間 : 10:00 ~ 18:00

(年末年始(12/29~1/3)を除く)



サイバーセキュリティ人材の育成

実践的サイバー防御演習の実施

サイバー攻撃の悪質化・巧妙化が進む一方で、我が国のサイバーセキュリティ人材は質的にも量的にも不足しており、その育成が喫緊の課題となっています。NICTのナショナルサイバートレーニングセンターでは、NICTがこれまでの研究開発で培った知見を活用して、サイバー攻撃に対する一連の対処を実際に体験する「実践的サイバー防御演習(CYDER: CYber Defense Exercise with Recurrence)」を国の機関や地方公共団体向けに全国の会場で実施中です。これまで8年間の受講者数は延べ2万4千人を超え、組織のインシデント対処能力の向上に貢献しています。

サイバーセキュリティ演習教材の展開

実践的サイバー防御演習(CYDER)の受講対象以外の民間企業でも、セキュリティ製品やセキュリティ情報を適切に取り扱える人材が不足しています。また、海外のセキュリティ演習教材に依存し、日本特有の攻撃に対して速やかに対処できない場合があります。そこで、総務省・NICTでは、民間企業・教育機関等による自立的な人材育成を推進していま



CYDER 演習風景



2023年7月に日本橋へ移転・拡張した東京会場
(東京駅からも徒歩圏内)

サイダコくん



演習の詳細や受講申込はこちら

<https://cyder.nict.go.jp/>



す。NICT の提供するサイバーセキュリティ演習基盤CYROP (Cyber Range Open Platform) では、CYDERと同等の演習を民間企業・教育機関自ら実施できる演習教材と演習環境の利用開放や、CYROPの独自教材も開発・提供していますので、ぜひご活用ください。

安心してインターネットを使うために

国民のためのサイバーセキュリティサイト

日本中の多くの人にとって、インターネットはなくてはならないものですが、インターネットは誰もが安心して利用できるものといえるのでしょうか。総務省では、一般の利用者にセキュリティ対策の知識を分かりやすく提供するために、「国民のためのサイバーセキュリティサイト」を提供しています。サイバー攻撃を受けないように自衛するため、また

意図せず他人に迷惑をかけないようにするために、日常的な習慣とすべきセキュリティ対策を分かりやすくまとめているので、ぜひご活用ください。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/kokumin/



Wi-Fi の安全な利用について

自宅や外出先でWi-Fi (無線LAN) を利用したことはあるでしょうか。近年では、Wi-Fiを自宅で利用するだけでなく、地方公共団体やホテル、カフェや飲食店、各種店舗などに公衆Wi-Fiが設置され、またそれを利用する人も増えています。自宅設置のWi-Fi (自宅Wi-Fi) や公衆Wi-Fiは通信速度が速く、携帯電話回線の通信料金 (パケット通信料) を削減できる手段としては便利ですが、適切なセキュリティ対策を講じないと、不正な目的でWi-Fiを利用されたり、情

報漏えい等の被害につながったりしてしまいます。

こうした中、総務省では「自宅Wi-Fi利用者」「公衆Wi-Fi利用者」「公衆Wi-Fi提供者」の3つの観点から、Wi-Fiの安全な利用・提供のために必要なセキュリティ対策をわかりやすく解説したガイドラインを公表しています。また、サイバーセキュリティ月間に、ガイドラインのポイントをアニメや講義形式で解説したオンライン動画講座を開講予定ですので、こちらもぜひご受講ください。

●安全な利用のために気をつけるべきポイント

セキュリティ対策が十分でないままWi-Fiを利用すると、思わぬ被害に見舞われることがあります。Wi-Fi利用時には、次のポイントをチェックしましょう。

自宅 Wi-Fi

- ・セキュリティ方式は「WPA2 または WPA3」を選択しましょう
- ・パスワードは第三者に推測されにくいものにしましょう
- ・サポート期限内の Wi-Fi ルーターを利用しましょう
- ・ファームウェアを最新の状態にしましょう
- ・Wi-Fi ルーターの設定を定期的に確認しましょう

公衆 Wi-Fi

- ・接続する公衆 Wi-Fi をよく確認しましょう
- ・正しい URL で HTTPS 通信しているか確認しましょう
- ・パソコンの共有設定に注意しましょう

●安全な提供のために気をつけるべき視点

地方公共団体やホテル、カフェや飲食店、各種店舗などが提供する公衆Wi-Fiについて、セキュリティ対策を適切に行わないと、公衆Wi-Fiの利用者だけでなく提供者自身もサイバー攻撃等の被害を受けるリスクが高まります。利用者のための対策、提供者自身のための対策という2つの見方に立って、適切に対策を行う必要があります

総務省が作成・公表している
Wi-Fi セキュリティガイドライン



セキュリティガイドラインの入手はこちら

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/wi-fi/





景観や特産品などの地域資源に恵まれた文化・観光都市

倉敷市

岡山県 Kurashiki-City



倉敷美観地区

文化庁の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。くらしき川舟流しは蔵屋敷と柳並木の美しい町並みを水上から眺められる。



円通寺

和歌や漢詩などで知られる江戸時代後期の禅僧・良寛が若き日に修行した禅寺。隣接する円通寺公園では四季の花々を楽しめる。



ぶどう、白桃



瀬戸内の温暖な気候に恵まれた倉敷市では、芳醇な香りと味わいのぶどうやジュシーで甘みの強い白桃などの生産が盛ん。



畳縁

多彩な織り柄と色使いが特徴の児島の畳縁。最近ではバッグやポーチ、ベルト、小銭入れ、ペンケースなど身近な小物に応用された商品も人気。



ぶっかけうどん

ソフトな口あたりながらコシの強いうどんに、ねぎや天かす、海苔、うずらの卵などを乗せ、甘いタレをかけた倉敷名物。

蔵屋敷の町並み、ジーンズ、港町——。エリアごとに際立つ個性



豪雨災害の経験を生かした安全安心のまちづくり

倉敷市長
伊東香織

平成30年7月豪雨災害からの真備地区の復興にあたっては、全国の皆様から多くのご支援をいただき心より感謝申し上げます。大規模な治水事業である小田川合流点の付替え事業も昨年3月に竣工しました。今後もこの経験を生かして安全安心のまちづくりに取り組んでまいります。

本市では、2回のG7大臣会合開催の経験を生かしたMICE※誘致や、昨年7月にはKITTE 大阪にアンテナショップ「クラシキ」を開店するなど大阪・関西万博も見据えた国内外からの誘客に努めています。10月には日本遺産フェスティバルin倉敷も開催します。皆様ぜひご訪問ください。

※MICE:集客・交流を見込める、会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の総称。



鷺羽山

名前は鷺が翼を広げた姿を思わせる山容が由来。展望台やレストハウスから瀬戸内の多島美と瀬戸大橋のパノラマを楽しめる。



まびふれあい公園

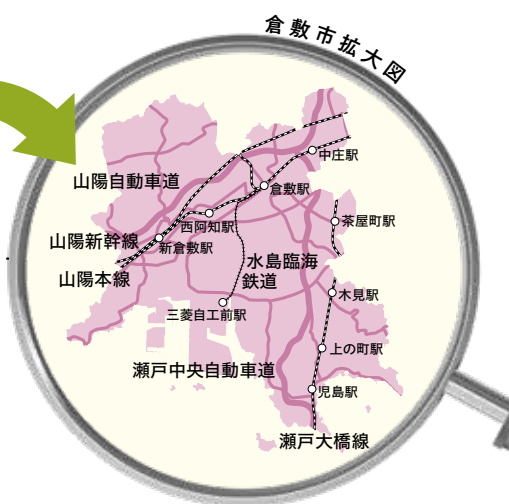
真備地区に復興のシンボルとして造られた公園。食糧や防災用資材を備蓄する倉庫やヘリポートを備え、災害時には避難場所となる。

Kurashiki-City

人口: 473,670人
(令和6年12月末現在)

面積: 356.07 km²

URL: <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/>



岡 山県南部に位置し、文化・観光都市として知られる倉敷市は暮らしやすい都市機能と自然が共存するまちでもあります。

市政に移行した昭和3年以降、合併や編入を重ね、倉敷市は多彩な表情の地区で構成されることに。

市の北部は古代、大和や出雲、筑紫と並ぶ四大王国とされた吉備の一部をなした地で、庄地区の榎築遺跡や真備地区の箭田大塚古墳など多くの遺跡があります。

平野部にはかつて浅い海が広がっていましたが、戦国武将の宇喜多秀家が堤を築き、その後、干拓が進んで、市の南部を中心に綿花、庄・茶屋町地区ではイ草が栽培されるようになり、これが現在の繊維産業につながります。

市の中心地、倉敷地区は寛永19

(1642)年に天領(幕府直轄地)となり、物資の集散地として繁栄し、明治時代には紡績業で栄えたまちで、往時の面影を残す倉敷美観地区は県内屈指の観光スポットに。

市の南部は西日本有数の工業地帯で、コンビナートの夜景が人気の水島地区、瀬戸内海国立公園の美しい景観が広がる児島地区、昔ながらの港の景色が残る玉島地区があります。

晴れの日が多く、水資源にも恵まれる倉敷市では船穂地区のマスカットや真備地区のたけのこ、玉島地区の白桃、水島地区の連島ごぼうなど各地区で特産物が作られています。

倉敷市は歴史と風土の中で培われてきたこれらの地域資源を活用した観光振興を推進しています。



藤戸まんぢゅう

源平の合戦から続く銘菓。ほんのりお酒の風味がする薄皮で包まれた、程良い甘みのあん。昔から変わらぬ味で地元で愛される倉敷土産の定番。



倉敷天領寿司

さわらやままかり、あなご、しゃこ、たこなどの魚介類にれんこんやしいたけ、たけのこ、金時にんじんなどの旬の野菜を合わせる。



まちの魅力をアピールし、MICEも誘致

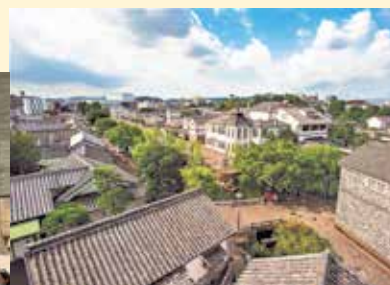
観光政策



アンテナショップ「クラシキ」。デニムの小物や銘菓など多彩な商品のほか観光や移住の情報も発信。



誘致した日本ニュージーランド経済人会議では、丹下健三建築の倉敷市立美術館をレセプション会場として提供。



3つの日本遺産ストーリー

- 一輪の綿花から始まる倉敷物語～和と洋が織りなす繊維のまち～
- 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～
- 「桃太郎伝説」の生まれたまちおかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

特産品や名所、老舗など豊富な地域資源を広く知ってもらうため、倉敷市はこれらの情報をくらしき地域資源ミュージアムとしてWebなどで発信し、昨年7月にはJR大阪駅に直結する大型複合施設内にアンテナショップ「クラシキ」を開設しました。

また昨年4月にMICE誘致推進室を立ち上げ、「倉敷ならではの心に刻まれるMICE」を掲げて、誘致活動を展開しています。

令和7年10月25、26日には倉敷アイビースクエアを主会場に日本遺産フェスティバルを開催する予定です。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、文化や伝統を語るストーリーで、現在、全国104のストーリーが文化庁に認定されています。倉敷市はそのうちの3つを有し、構成文化財が市内全域に点在する「日本遺産のまち」です。



地元の人たちと触れ合い、瀬戸内の暮らしを体感

お試し住宅

くらしき移住定住推進室を平成27年に設置した倉敷市は移住セミナーや移住体験ツアーなどの事業に取り組んでいます。

お試し住宅については新幹線停車駅のJR新倉敷駅の徒歩圏で「街ぐらし」ができる集合住宅の物件に続き、令和5年3月には児島半島の南端にある下津井に「海ぐらし」を体感できる、せとうち古民家お試し住宅を開設しました。

滞在中は先輩移住者との交流会やまち歩き、古民家セミナーなど



洗濯機や冷蔵庫、IH調理器などを備える。利用は2泊以上14泊以内。

のプログラムがセットされているので、より深い移住体験ができます。



築100年を超える元豆腐店をリノベーションした物件。昨年12月には内覧会を実施した。



小田川合流点付替え事業。高梁川と小田川の合流点を付け替えたほか、河道掘削などを行った。



昨年3月に整備した有城防災備蓄倉庫。10tトラック32台分の食糧や飲料水などを備蓄できる。



様々な部局の市職員が戸別訪問し、ハザードマップを示しながら意識づけを行った。



河川の改修や職員による徹底した戸別訪問

防災の取組

水害や地震に備えるため、倉敷市は市をあげて防災・減災対策に取り組んでいます。

ハード面では、昨年3月、計画を前倒して高梁川と小田川の合流点を下流に付け替える工事が竣工し、地域の安全性が高まりました。大型の防災備蓄倉庫も市内3か所目を整備中です。

ソフト面では一斉地震対応訓練、

講演会やシンポジウム、Webサイト「倉敷防災ポータル」の開設などの施策を講じています。

昨年8月には宮崎県の日向灘で震度6弱の地震が発生した際、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を発したことを受け、8月14日、15日、津波浸水想定区域に在住する高齢者などの避難行動要支援者を対象とする戸別訪問を市職員2人1組、



非常持出品・非常備蓄品チェックリストを市内全戸に配付。

106名で実施。防災啓発と個別避難計画の作成支援を行い、8月22日以降は対象を市内全域に広げ、計画の作成を加速化させました。

岡山県 倉敷市

Kurashiki-City

地方のかがやき

暮らしってなっ得！
**倉敷市の
ここがすごい！**

むかし下津井回船問屋館長
三宅武夫さん

明治時代の建物を復元した資料館。
特産物の販売、食事処も



江戸時代、瀬戸内海に面した下津井には大坂に向かう北前船が寄港し、北国のニシン粕がもたらされ、これが綿花などの肥料となり、帰り荷として綿や塩などを出していました。風待ち潮待ちの交易港のなごりをとどめる下津井は外来者を受け入れてきた土壌があり、気候が良く、災害も少なく、住みやすいまちです。



理想のジージャンを
作りたいと思い、行きつ
いたのが倉敷市でした

縫製職人
福川太郎さん



倉敷ファッションセンターのジーンズ縫製実践講座で学び、児島でダンジョデニムというブランドを立ち上げました。関東地方の出身ですが、倉敷市と相性が良かったのか違和感なく溶け込めました。児島は生地、縫製などデニム作りに関わるあらゆる業者が集結していることや、ジーンズストリートで直接消費者とつながることができる強みがあります。

つくろう！守ろう！ 安心できる情報社会 DIGITAL POSITIVE ACTION

インターネットや SNS の普及につれて社会生活の利便性が向上する一方で、偽・誤情報や詐欺広告、誹謗中傷などの投稿が加速的に拡散され、特に災害やパンデミックが発生した際には偽・誤情報等が深刻な影響を及ぼしていると指摘があります。世界的にも選挙に際して流通・拡散する偽・誤情報等による影響も指摘されています。

インターネットや SNS、さらには生成 AI など新たな技術も含め、デジタル技術は人々の日常生活に深く浸透しており、国民一人一人がデジタル社会の構成員として安心してインターネットや SNS を利用するためには、他者への影響にも配慮しつつ、デジタル技術を積極的に活用し、責任ある行動をとることがますます重要となっています。

そこで、総務省では、リテラシー向上に関す

る取組として官民連携プロジェクト「DIGITAL POSITIVE ACTION」を始動し、令和 7 年 1 月 22 日（水）に発表しました。

本プロジェクトのロゴ・スローガンについては、国や企業・団体、そして国民一人一人が、「デジタル社会がポジティブな社会になるようなアクションを次々と起こしていく」という強い想いを伝える英語のスローガン、その想いに込められた意義を伝える「つくろう！守ろう！安心できる情報社会」という日本語のコピー、安心で楽しめる情報社会になり、人が幸せになっていく状態を象徴的に描いたマークの 3 点を掛け合わせたものを表現しています。

プロジェクトにおける今後の活動内容としては、多様な企業・団体によるセミナー・シンポジウム開催、普及啓発教材の作成などを予定しています。



つくろう！守ろう！安心できる情報社会



【参加企業・団体】

- 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会
- 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ推進協議会
- 一般社団法人セーフインターネット協会
- 一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構
- 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
- 一般財団法人マルチメディア振興センター
- Google
- LINE ヤフー株式会社
- Meta
- TikTok Japan
- X
- KDDI 株式会社
- 株式会社 NTT ドコモ
- ソフトバンク株式会社
- 楽天モバイル株式会社
- 株式会社 Gunosy
- 株式会社 NewsPicks Studios
- スマートニュース株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社

ステートメント

みんなの生活を楽しく便利にしてくれるネットの中に、いつの間にかまぎれ込む、偽情報や誤情報、フェイク動画、詐欺広告、SNS 上の誹謗中傷、奪われる個人情報…。正確な情報が手に入らないことも。複雑に入り混じる情報に、惑わされてしまうことも。

さあ、今こそみんなで、“つくろう！守ろう！安心できる情報社会”

ここにいる、あなたとともに。
情報社会を支える、企業・団体とともに。
DIGITAL POSITIVE ACTION、
スタートです。

日常と隣り合わせになったデジタル空間を、誰もが安心できる場所にするために。
人をつなぎ、社会を変えるデジタル技術で、この世界の可能性がもっとゆたかに広がるために。

ポジティブな未来へ、アクションを。いっしょに始めませんか？

参加企業・団体のイベント・セミナー情報や、健全な情報社会を作るための取組を Web サイトで紹介していますので、ぜひご覧ください。



つくろう！守ろう！安心できる情報社会

検索

<https://www.soumu.go.jp/dpa/>



教材紹介



「DIGITAL POSITIVE ACTION」の一環として、総務省では、年代別（青少年層、保護者層、高齢者層）の ICT リテラシー向上に資する普及啓発教材を作成しました。ぜひご覧ください。



https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/



公害苦情の受付件数は 3年連続で減少

～令和5年度公害苦情調査結果概要～

お近くの市町村などに設置されている公害苦情相談窓口では、騒音や悪臭などの公害でお困りの方のご相談を受け付け、簡単な手続きによる解決を図っています。
公害等調整委員会事務局では、こうして市町村などが

受付・処理した公害苦情について、毎年度、調査を行っています。
「令和5年度公害苦情調査結果」の概要は、以下のとおりです。

公害苦情の受付状況

図1 全国の公害苦情受付件数の推移

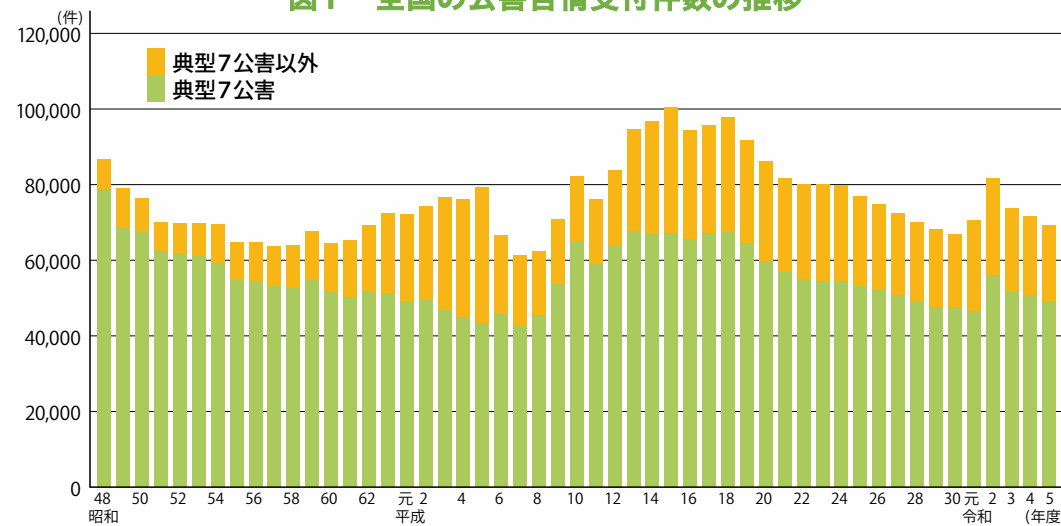
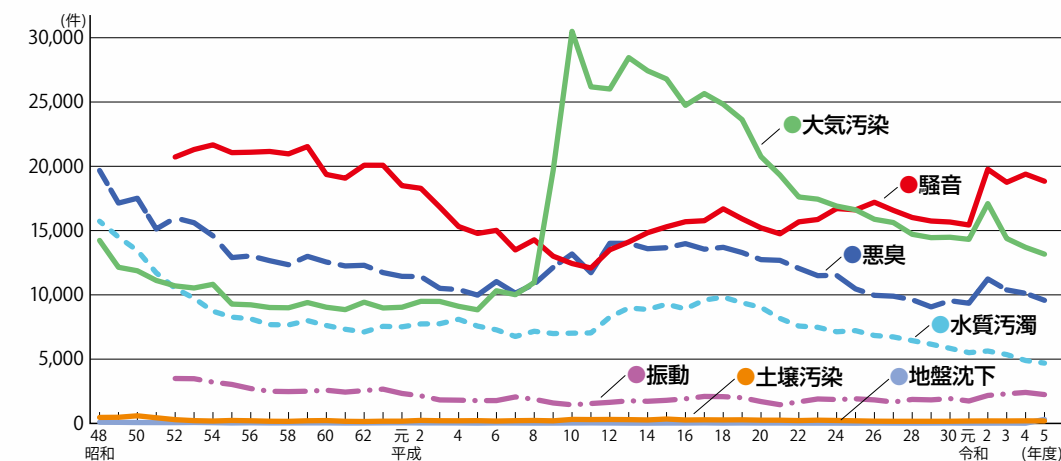


図2 典型7公害の種類別 公害苦情受付件数の推移



典型7公害とは…

環境基本法第2条第3項に定められた、(1) 大気汚染、(2) 水質汚濁、(3) 土壌汚染、(4) 騒音、(5) 振動、(6) 地盤沈下、(7) 悪臭を指します。

図3 主な発生原因別 公害苦情受付件数

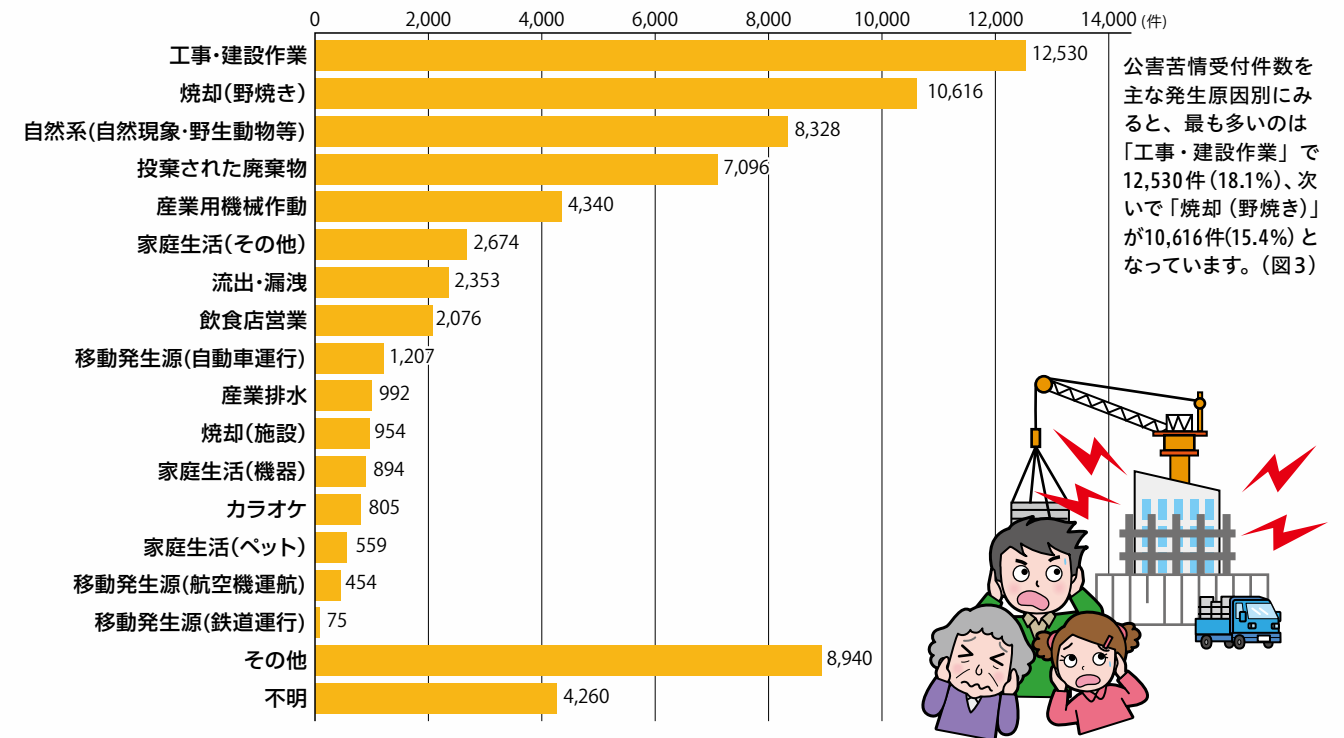
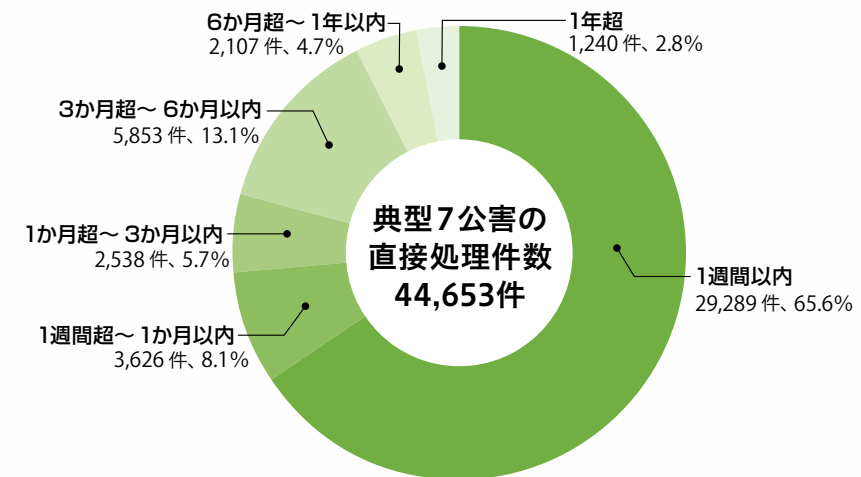


図4 苦情申立てから処理までの期間別 典型7公害の直接処理件数



直接処理とは…

加害行為または被害の原因が消滅した、苦情申立人が納得したなど、苦情が解消したと認められる状況に至るまで地方公共団体が措置を講じたことをいいます。

公害で困ったときは、まずはお近くの市町村などの公害苦情相談窓口にご相談してみましょう。

詳しくはこちらから

公害苦情調査
<https://www.soumu.go.jp/kouchi/knowledge/report/main.html>



公害苦情相談
<https://www.soumu.go.jp/kouchi/knowledge/how/Pollution-complaint.html>



3月1日(土)から3月7日(金)まで 春季全国火災予防運動を実施します！ この機会に防火への意識を高めましょう

重点推進項目



推進項目



令和5年は千人を超える方が住宅火災の犠牲に

令和5年中の火災による総死者数は1,503人で、このうち、住宅火災による死者数は1,023人と全体の約7割を占めています。

これらの火災による犠牲者を減らすためには、日頃から一人ひとりが生活の中で防火意識を高めることが大切です。

地震火災対策の推進について

地震火災を防ぐためには、以下の対策が重要です。消防庁では対策をまとめた動画を作成していますので、ぜひご覧ください。

- ①感震ブレーカー、家具等の転倒防止、耐震自動消火装置等を備えた火気器具の普及等を推進するなどの**出火防止対策**
- ②住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具などの設置といった**火災の早期覚知・初期消火対策**
- ③地域の防災訓練や自主防災組織への参加など、**地域ぐるみの防火対策**

住宅防火対策の推進について

消防庁では、「住宅防火いのちを守る10のポイント～4つの習慣・6つの対策～」をはじめ、火災予防啓発用の動画やチラシを作成し、ホームページに掲載しています。住宅火災からいのちを守るための対策の確認にお役立てください。

お問い合わせ先
消防庁ホームページ「住宅防火 いのちを守る10のポイント～4つの習慣・6つの対策～」
https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/materials/



春季火災予防運動ポスター

消防庁では、本年3月1日(土)から7日(金)までの7日間、春季全国火災予防運動を実施します。今回の火災予防運動では、感震ブレーカーの普及推進をはじめとする「地震火災対策の推進」、「住宅防火対策の推進」、「林野火災予防対策の推進」を重点推進項目として実施要綱に定めています。



静岡県裾野市

日本一市民目線の“頼りになる窓口”づくり

地域DXのヒント第12回は、自治体におけるフロントヤード改革の取組について裾野市の事例をご紹介します。

裾野市では「日本一市民目線の市役所」を目標に掲げています。その実現のため、オンライン申請を広げると共に、手続きがスムーズに終わり、悩みがあれば安心して相談できる市役所窓口の実現を目指しています。これを「頼りになる窓口」と呼んでいます。

この取組の中では、市民の皆さんの声を迅速に収集し、その声を改善に繋げることを大切にしています。

例えば、手続きのために市庁舎を訪れた方々からは、「来庁から手続き完了までの流れが分からない」「一つの窓口で手続きを完結させてほしい」といったご意見が寄せられました。そこで、自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトでの取組の中で、従来の窓口配置を見

直し、来庁目的ごとにゾーンを分け、ゾーン内で主な手続きが完結する「ワンストップ窓口」を令和7年1月から開始しました。これにより、複数の手続きが必要な場合も、一つの窓口で完結するようになりました。

さらに、オンライン予約システムの導入による待ち時間の短縮、届出書や申請書の記入項目の簡素化などの改善を行ったことで、利用者の満足度は10点満点中平均9点になりました。市役所全体で利用者アンケートを基にした改善を行うため、アンケート結果は市役所1階のモニターで常に表示するようにしました。

今後も「頼りになる窓口」を目指して、利用者アンケートや対応時間などのデータを分析し、継続的な改善に取り組んでいきます。



ボタン式利用者アンケート

ワンストップ窓口



編集後記

editorial note

3月号をお読みいただきありがとうございます。

今回、地方のかがやきで紹介したのは岡山県倉敷市です。倉敷市と言えば美観地区や鷺羽山など街並みも自然も美しいまちのイメージですが、ジーンズなどの繊維産業や桃を筆頭とした農業も盛

んで、水島にはたくさんの工場も集まっています。

倉敷市や周辺自治体への移住を検討されている方に向けて、倉敷市はお試し住宅を整備しています。今回は、下津井地区にある古民家を改装したお試し住宅を見学しました。地域の方も様子を見に来て

いて、地元からの関心の高さも感じました。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。

(広報室 C.H)

さあ、一緒に！ 国勢調査員 大募集

令和7年10月1日に

国勢調査を実施します

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です！

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025



地域の未来の
ために！



暮らしを
より良く変える力に！



地域の人と
話す機会に！



自分のペースで
働ける！



詳しくは、お住まいの市区町村の
統計調査担当窓口までお問い合わせください。

国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村